



2019年

もも病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤（水100ℓ当り）	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 (ℓ)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水98ℓ) スプレーオイル 2ℓ トレノックスフロアブル 200mℓ	発芽前 7日前	— 5回	300	縮葉病 カイガラムシ類 ハダニ類	①トレノックスFに代えて、石灰硫黄合剤の10倍（発芽前）でもよい。 ＊石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないようにする。 ②ウメシロカイガラムシ 発生園は、アブロードフロアブルの1,000倍（14日前、3回）を加用する。ただし、石灰硫黄合剤とは混用できない。 ③せん孔細菌病 発生園は、開花5～7日前にキンセツ水和剤80の1,000倍（開花直前まで、但し収穫60日前まで、5回以内）を特別散布する。
2	月 日	開花直前	アビオンE 100mℓ IC ボルドー412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病	*せん孔細菌病対策 開花期～5月下旬まで、春型枝病斑の除去を徹底する。 ①展葉後の散布は薬害発生の恐れがあるため、散布時期を厳守する。 ②IC ボルドー412に代えて4-12式ボルドー液でもよい。 ③せん孔細菌病 発生園は、開花直前～6月中旬の散布まで、展着剤にアビオンEの1,000倍（固着性展着剤）を使用する。 ④アブラムシ類発生園はウララDF2,000倍（14日前、2回）を加用する ⑤黒星病（うどんこ病） 発生園は、落花直後の散布にコロナフロアブルの500倍を加用する。 ⑥アグレプト水和剤に代えて、ストマイ液剤20の1,000倍またはアグレプト液剤の1,000倍（60日前、2回）を使用してもよい。 ⑦アグレプト水和剤、アグリマイシン-100、ストマイ液剤20等の使用回数は、合計で2回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し果を生じるので、隣接園に飛散しないようにする
3	月 日	落花直後	展着剤 10mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ アグレプト水和剤 100g	前日 7日前 60日前	2回 5回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	展着剤 10mℓ アブロードフロアブル 100mℓ ストロビードライフロアブル 50g モスピラン顆粒水溶剤 25g アグレプト水和剤 100g	14日前 前日 前日 60日前	3回 3回 3回 2回		せん孔細菌病 黒星病・灰星病 うどんこ病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カイガラムシ類	
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	展着剤 10mℓ フルーツセイバー 50mℓ ハチハチフロアブル 50mℓ マイコシールド 66g	前日 前日 21日前	3回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 うどんこ病 モモハモグリガ アブラムシ類	①カメムシ類 発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、マブリックEWの2,000倍（21日前、2回）を使用する。 ②カイガラムシ類 発生園は、コルト顆粒水和剤の2,000倍（前日、3回）を加用する。
6	月 日	6月上旬	展着剤 10mℓ デランフロアブル 166mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g マイコシールド 66g	7日前 前日 21日前	4回 3回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 ホモプシス腐敗病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	
7	月 日	6月中下旬	展着剤 10mℓ デランフロアブル 166mℓ ダーズバンDF 33g マイコシールド 66g	7日前 14日前 21日前	4回 5回 5回	600	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ウメシロカイガラムシ	①カメムシ類 発生園はスミチオン水和剤40の1,000倍（3日前、6回）を加用する。
8	月 日	7月上旬	展着剤 10mℓ ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2回 5回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	①晩生種で、せん孔細菌病 発生園は、マイコシールドの1,500倍（21日前、5回）を加用する。＊収穫前規制に注意する。 ②ナリアWDGはぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ル・レクチェに薬害を生じる恐れがあるので、飛散しないようにする。 ③ハダニ類 発生園はコロマイト乳剤の1,000倍（7日前、1回）を加用する。
9	月 日	7月中下旬 あかつき等 最終防除	展着剤 10mℓ ダニコングフロアブル 50mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ エクシレルSE 20mℓ	前日 前日 前日	1回 3回 3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ケムシ類 ハダニ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①カイガラムシ類 発生園は、除袋後の散布にコルト顆粒水和剤の2,000倍（前日、3回）を加用する。 ②ダニコングフロアブルに代えて、ダニゲッターフロアブルの2,000倍（前日、1回）を使用してもよい。
10	月 日	8月上旬 なつっこ等 最終防除	展着剤 10mℓ ベルクートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。
11	月 日	8月中下旬 川中島白桃等 最終防除	展着剤 10mℓ オーシャインフロアブル 50mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①ミカンキイロアザミウマ 発生園は、ディアナWDGの10,000倍（前日、2回）を加用する。
12	月 日	9月上旬 極晩生種 最終防除	展着剤 10mℓ ベルクートフロアブル 50mℓ	前日	3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①シンクイムシ類 発生園は、アーデントフロアブルの2,000倍（前日、3回）を加用する。
13 14 15	月 日	収穫後 9月上中旬 ～ 3回散布	アビオンE 100mℓ IC ボルドー412 3.3kg スミチオン乳剤 100mℓ	— — 3日前	— — 6回	600	せん孔細菌病 モモハモグリガ ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 カメムシ類	＊スミチオン乳剤は、1回目の散布のみ使用する。 ①IC ボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍（開花前まで）を使用してもよい。 （薬害が心配される場合はクレフノン100倍を加用する） 【落葉後～萌芽前までの防除】 コスカシバ 発生園は、ラビキラー乳剤200倍（休眠期、1回）を樹幹及び主枝に十分散布する。

当防除暦の複製・コピーの禁止